

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人援助論Ⅳ (終末期にある患者の看護・緩和ケア)	1 単位 (30 時間)	齋藤 彰子 (認定看護師) 大和 孝明チャプレン 山本 友美 (認定看護師)	4 年前期

【学習目標】

終末期の対象のトータルペインを学び、終末期における患者・家族に対する看護の基本、方法を理解する。

【授業の進め方】

講義、グループワーク、演習

【授業スケジュール】

- 1 緩和ケアの現状と展望 緩和ケアの対象者の広がり (さまざまな疾患)
- 2 緩和ケアにおけるチームアプローチ
- 3 緩和ケアにおけるコミュニケーション
- 4 緩和ケアにおける倫理的課題
- 5 全人的ケアの実践 (身体的ケア、心理的ケア)
- 6 全人的ケアの実践 (社会的ケア、スピリチュアルケア)
- 7 緩和ケアの広がり
- 8 臨死期のケア
- 9 家族のケア
- 10 医療スタッフのケア
- 11 緩和ケアに関する教育、緩和ケアにおける研究
- 12 ホスピス・緩和ケア病棟について
- 13 //
- 14 //
- 15 試験

【教科書】

系統看護学講座別巻 緩和ケア 医学書院

【参考書】

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人看護方法Ⅲ	1 単位 (15 時間)	町田 久美 (臨床経験 5 年)	4 年全期

【学習目標】

- 1 手術療法による状態変化を理解し、実践のための観察項目・方法や経過に伴う援助について学ぶ。
- 2 対象の心理面に配慮した周手術期の援助に必要な看護技術を身につける。

【授業の進め方】

講義、演習、グループワーク、レポート発表

【授業スケジュール】

- 1 手術に伴う生体反応、疾患を踏まえた身体状況の把握
- 2 術後の観察項目とその方法について
- 3・4 演習 周手術期に必要な看護技術
術前練習（呼吸、含嗽、喀痰、離床）、酸素療法、吸入、点滴管理、
創傷・ドレーンの管理等
- 5・6 グループワーク 周手術期における回復促進の看護について
- 7・8 「手術療法による状態変化に対応する看護」についてレポート発表

【教科書】

臨床外科看護総論 他

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

出席状況：出席時間と参加態度（20％）・演習評価（30％）・レポート（50％）

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
小児援助論Ⅲ	1 単位 (15 時間)	芳賀 了 (大学助教) 矢野 恵理 (病院認定看護師) 小笠原 真織 (病院専門看護師) 小林 佳菜絵 (病院看護師)	4 年後期

【学習目標】

さまざま状況にある小児及びその家族への看護について理解できる。

【授業の進め方】

講義、グループ討議

【授業スケジュール】

- 1 救急救命処置が必要な小児とその家族への看護
- 2 周手術期における小児とその家族への看護 (術前～術中)
- 3 周手術期における小児とその家族への看護
- 4・5 慢性期にある小児とその家族への看護 (小児慢性期疾患と成人移行期支援)
- 6 エンド・オブ・レイフケア
- 7 医療ケアを必要として退院する小児とその家族への看護
- 8 試験

【教科書】

系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院

【参考書】

発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図 第3版 医学書院
こどもの病気の地図帳 講談社

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
小児看護方法Ⅱ	1 単位 (15 時間)	佐藤 理紗 (臨床経験 7 年)	4 年全期

【学習目標】

- 1 健康障害をもち入院している小児とその家族を理解するための方法を学び、対象に応じ実践できる技術を身につける。
- 2 小児の特性や生理的特徴・発達段階に応じた看護を理解する。

【授業の進め方】

講義、演習、グループワーク、レポート発表

【授業スケジュール】

- 1 小児病棟の特性・小児病棟の看護管理について
疾患をもち入院する小児とその家族に応じた看護について
- 2・3 演習 プレパレーションの実際
- 4 グループワーク 病児に状況に合わせた遊びの関わりについて
- 5・6 グループワーク 健康障害が小児に及ぼす影響について
- 7 グループワーク 小児看護における人権尊重・倫理について
- 8 「小児看護観」の発表

【教科書】

系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

出席状況：出席時間と参加態度（20％）・演習技術評価（30％）・レポート（50％）

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
母性看護方法	1 単位 (30 時間)	和田 光子 (臨床経験 12 年)	4 年全期

【学習目標】

- 1 周産期にある対象を理解するための方法を学び、実践できる技術を身につける。
- 2 周産期の母子関係の構築及び母性発達を支える看護について理解する。

【授業の進め方】

講義、演習、個人ワーク、グループワーク、レポート発表

【授業スケジュール】

- 1 母性看護の臨床的視点
- 2 ウェルネス看護過程について
- 3 周産期における対象の特徴と理解
- 4 周産期における対象の特徴と理解
- 5 周産期における対象の特徴と理解
- 6 個人ワーク 母子相互作用について (文献使用)
- 7 演習 妊婦健診時の技術 (レオポルド触診法・計測)
- 8・9 演習 新生児の計測、沐浴、おむつ交換、更衣、抱っこ
- 10 技術テスト (沐浴)
- 11・12 グループワーク 母性看護について看護体験
- 13 個人ワーク レポート作成 (文献活用)
- 14・15 「周産期の母子関係の構築・母性発達を支える看護について」発表会

【教科書】

学習内容関連の教科書

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

出席状況：出席時間と参加態度 (20%) ・演習技術テスト (30%) ・レポート (50%)

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
精神援助論Ⅲ	1 単位 (15 時間)	ペタス 裕子 (臨床経験 16 年) 柳澤 美紀 (専門看護師) 吉池 慎一 (精神保健福祉士) 影山 真由美 (精神訪問看護師)	4 年後期
<p>【学習目標】 精神領域の専門看護の機能と役割について学ぶ。また事例を通して精神障害者の地域生活を支えるための支援を学ぶ。</p> <p>【授業の進め方】 講義、グループワーク</p> <p>【授業スケジュール】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 あらゆる場に関わる精神看護 (GW) 2 退院支援の実際 (事例を通して) 3 精神科看護師に望むこと (事例を通して、権利擁護の視点) 4 あらゆる場に関わる精神看護 (発表) 5 精神科訪問看護の実際 6 リエゾン精神看護の機能と役割 7 リエゾン看護の活動の実際 8 試験 <p>【教科書】 系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開 医学書院</p> <p>【参考書】 なし</p> <p>【評価方法】 筆記試験</p>			